

総合的な学習の時間学習指導案（5年〇組）

1 単元名 米づくりから持続可能な社会を考えよう

2 考察

(1) 教材観

現代社会の中で、環境問題は大きくクローズアップされている。地球温暖化問題については、現状のような化石燃料に依存した経済成長を続けると、二酸化炭素などの温室効果ガスの濃度上昇により、2100年までに最大4.8度平均気温が上昇し、地球環境に重大な影響を及ぼすという予測が導き出され、温暖化の防止が、世界中で取り組まなければならない大きな課題となっている（2013年9月のIPCC[気候変動に関する政府間パネル]による）。ほかにも、水質汚濁や土壌汚染といった水や土壌に関する環境問題、熱帯林の減少や生物多様性の喪失といった自然環境に関する環境問題、エネルギーの大量消費や大量の廃棄物による環境への影響といった環境問題など、様々な環境問題が地域的規模から地球的規模にまで起きている。

こうした状況の中、「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律（2012）」が制定された。この法律によると、環境教育のねらいは「健全で豊かな環境を維持しつつ、環境への負荷の少ない健全な経済の発展を図りながら、持続的に発展することができる社会（持続可能な社会）づくりに貢献できる人材の育成」である。環境とのかかわり方を一人一人が考え、持続可能な社会の担い手になることが求められているのである。

協力校では、毎年5学生の児童が総合的な学習の時間で米づくりに取り組んでいる。学校の近くに田があり、地域の方の指導の下、種蒔きや田植え、稲刈りといった体験学習が行われている。本単元は、この米づくり学習に社会科を始めとする他教科との関連付けを行い、持続可能な米づくりという視点で探究的な学習活動を行うものである。米づくりは、自然との深いかかわり、環境と生産性を考慮した農薬や化学肥料の使用、働く人の高齢化や生産調整の問題、食糧自給率の低下や輸入米の問題など、持続可能な開発にかかわる様々な視点に立って考えることができる教材である。

(2) 児童の実態及び指導方針（男子15名 女子19名 計34名）

明るく元気な学級であり、学習課題に対して意欲的に取り組む児童が多い。種蒔きや田植えの際は、講師の話をよく聞いて、率先して活動に取り組み、責任をもって田の水の管理もすることができた。稲刈りを楽しみにしている様子が、児童の発言からもうかがえる。

本研究にかかわる児童の実態調査を9月に実施した（回答者34名）。

〈①調べ学習に関する調査より〉

※数値は、「とてもあてはまる」「ややあてはまる」を選択した児童の割合

学習活動の内容	楽しい	得意
追究テーマを決める活動	87%	37%
本やパソコンで調べる活動	98%	75%
模造紙やパソコンでまとめる活動	91%	62%
追究したことを発表する活動	60%	53%

学習に対する意欲は全般的に高いものの、実際の活動に対しては苦手意識をもっている傾向がうかがえる。特に、追究テーマを決める活動と追究したことを発表する活動については、苦手意識が強い。

そこで、追究テーマを決める際は、児童の意見を尊重しながら、一人一人が自己決定できる場面を設定することで、自分で追究テーマを決めたという満足感を味わえるようにする。また、発表に関しては、計画立案時や発表の準備段階における話し合いの中で、一人一人の役割を明確にし、目的をもって練習に取り組む活動を毎時間設定することで、練習が充実し自信をもって発表当日を迎えられるようにする。苦手と感じている児童には、発表練習によって課題の改善が見られたところを進んで賞賛するようにする。発表後も児童のよさを認めることで、継続して伝える活動に取り組む意欲がもてるようにする。

〈②環境保全活動に関する調査より〉

「環境保全活動に取り組んでいることをすべて書いてください」という問いに対し、回答した児童は26名、内容は、ごみに関することが15名と最も多く、植物への水やり、節水、節電、マイバックの利用について記述した児童は数名であった。全校で取り組んでいる牛乳パックのリサイクルや資源回収活動について記述した児童は1名、一つも記述できなかった児童は6名であった。児童一人一人は、環境保全活動を行っているが、環境保全という意識を明確にもって活動に取り組んでいるとは言えない現状である。

そこで、持続可能な社会で大切なことは何かを考える場面では、学校の環境保全活動の取組や身近にできる環境保全活動を取り上げることで、日常の取組が環境保全につながっていることを児童が理解し、環境保全活動に取り組むことができるようにする。

3 研究とのかかわり

平成25年度群馬県学校教育の指針では、環境教育のねらいを「持続可能な社会づくりに貢献する人材の育成」としている。また、総合的な学習の時間の指導の重点を「探究の過程に沿った児童生徒の望ましい変容の姿を具体的に想定しながら、単元計画の改善・充実を図ること」としている。

そこで、本研究では、望ましい変容の姿を「持続可能な開発の必要性に気づき、持続可能な社会づくりの大切さを伝えることができる児童」ととらえ、その育成を図るために、国連の提唱する ESD（持続可能な開発のための教育）が重視する「持続可能な社会づくりに関わる課題を見いだし、それらを解決するために必要な能力や態度」を身に付ける授業を行う。具体的には、米づくりを教材とした総合的な学習の時間において、ESDが重視する七つの能力や態度のうち、「批判」「多面」「参加」の三つの力を身に付ける授業を行う。つかむ過程で「批判的に考える力」、追究する過程で「多面的に考える力」、そして、広げる過程で「進んで参加する力」を身に付ける授業を行うことで、本研究主題である「持続可能な社会の実現に取り組む力を身に付ける」ことを目指す。

4 単元の目標

米づくりの工夫や、田のもつよさ、米づくりが抱える問題点を追究する活動を通して、持続可能な開発の必要性に気づき、持続可能な社会の実現に向けて、学んだことを伝える活動をすることができる。

5 指導計画（全16時間予定）※詳細な「指導と評価の計画」は、別紙参照

評価 規 準	学習活動への関心・意欲・態度	①米づくりに関心をもって、米づくりの工夫、田のもつよさ、米づくりが抱える問題点をつかもうとしている。 ②学んだことを伝えたいという意欲をもって、伝えようとしている。		
	総合的な思考・判断・表現	①持続可能な開発についての問題意識をもち、学習の見通しをもって追究している。 ②米づくりが自然や社会と様々にかかわりあっていることを、自分の意見と他の意見と比較・関連付けながらとらえている。		
	学習活動にかかわる技能	①自分が追究したい課題にかかわる情報を、様々な資料から取捨選択している。 ②調べたことや考えたことを、分かりやすく整理している。		
	知識を応用し総合する能力	①米づくりが環境や社会と深いつながりがあることを学び、持続可能な社会の実現の必要性について理解している。 ②学んだことを発信することが、持続可能な社会の実現につながることに気付いている。		
時間	過程	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
		活用させたい知識・技能	思考力・表現力・態度 ☆はESDの視点から見た、本研究で身に付けさせたい能力・態度	

<p>第1時 第2時</p>	<p>課題把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○米の生産は、自然環境と深いかわりをもって営まれているという知識【社会】 ○地域には米づくりを支える様々な仕組みがあるという知識【社会】 ○日本の米づくりは多くの課題を抱えており、その克服のための努力が続けられているという知識【社会】 ○水産業では、持続可能な開発に向けて、植林や魚つき保安林などの陸地の環境を守る取組があるという知識【社会】 	<ul style="list-style-type: none"> ☆合理的、客観的な情報や公平な判断に基づいて本質を見抜き、ものごとを思慮深く、建設的、協動的、代替的に思考・判断する力《批判》。 ・米づくり体験や社会科などの学習の中から課題を発見する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ○共通課題（米づくりから持続可能な社会を考えよう）を設定する。 ・米づくりの工夫、田のもつよさ、米づくりが抱える問題点を考える。 ・米づくりが持続可能な開発と言えるか考える。
<p>第3時 第10時</p>	<p>課題追究</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館の活用やインタビューの仕方など、資料を収集する技能【国語】 ○インターネットを使って調べる技能【国語、総合】 ○集めた資料から読み取ったことを表やグラフに整理する技能【算数】 ○学習課題の解決に役立つ資料とそうでないものの可否を判断する技能【社会、総合】 ○資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりする能力【国語】 ○学級全体で話し合って考えをまとめたり、意見を述べ合ったりする能力【国語】 ○生物は、その周辺の環境とかかわって生きているという知識【理科】 ○節水、節電、資源の再利用が生活環境の維持と向上に役立っているという知識【社会、家庭、総合】 	<ul style="list-style-type: none"> ☆人・もの・こと・社会・自然などのつながり・かわり・ひろがり（システム）を理解し、それらを多面的に考える力《多面》。 ・追究内容や方法を考え、見通しをもって計画を立てる力。 ・計画に従って意欲的に追究活動に取り組む態度。 ・事象を比較したり、関連付けたりして考える力。 ・他者の調べたことや考えたことを尊重する態度。 ・米づくりは、人と人、過去と現在、自然と人間など、様々なつながりの輪の中で営まれていることを理解する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個別課題（追究テーマ）を設定する。 ・追究の見通しを立て、追究テーマを決定する。 ○個別課題について、調べる。 ・図書室の本やインターネットなどを利用し、課題解決に必要な情報を収集する。 ・情報交換や意見交流を行い、自分の考えを深める。 ・出前授業で、質問したいことを考える。 ○出前授業で、持続可能な開発に向けた工夫や努力を学ぶ。 ・出前授業や調べ学習で学んだことを整理し、意見交流会の準備をする。 ○追究したことを伝え合う意見交流会を行う。
<p>第11時 第16時</p>	<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○引用したり図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書く能力【国語】 ○準備した説明や報告の発表原稿にふさわしく、相手の理解を深められるような資料を提示する能力【国語】 	<ul style="list-style-type: none"> ☆集団や社会における自分の発言や行動に責任をもち、自分の役割を踏まえ、ものごとに参加しようとする力《参加》。 ・学んだことを発表や発信する力。 ・相手や目的に応じて表現する力。 ・学びを振り返り、よりよく生きようとする態度。 	<ul style="list-style-type: none"> ○発表の計画を立てる。 ・模造紙やパソコンなど発表方法を選択し、発表会の計画を立てる。 ○発表の準備をする。 ・グループごとに発表の準備を進める。 ・リハーサルを行い、よい点や改善点を出し合う。 ○学習発表会をする。 ○単元を振り返り、学習のまとめをする。

6 本時の展開 (1/16)

- (1) **ねらい** 米づくりに関心をもって、米づくりをする上での工夫、田のもつよさ、米づくりが抱える問題点を考えることができる。
- (2) **準備** 教師：ワークシートNO.1、児童の活動を写した写真、児童が考える手だてとなる資料、児童が記入する短冊
 児童：社会科教科書、資料集、ノート、総合ファイル（ワークシートや資料の保管用）
- (3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
<p>1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>〈写真や資料を見た感想や意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もうすぐ稲刈りだね。楽しみだね。 ・環境や安全を考えて、農薬や化学肥料を減らす工夫をしているね。 ・田では、いろいろな生きものが生きているんだね。 ・農業で働く人の数が減っていることは問題だね。 </div>	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が米づくり体験をした写真と稲穂の写真を掲示し、米づくりについて考えることに興味・関心がもてるようにする。 ・1学期の社会科で使用した資料集から、米づくりの工夫や田のもつよさ、米づくりの問題点分かる資料を一つずつ掲示し、米づくりがこれからも続いていく（持続可能な開発になる）にはどうしたらよいかを考える学習を本単元で行うことを伝える。 ・本時は、米づくりが持続可能な開発となるかについて考えるための材料探しであるので、みんなでたくさん考えることの大切さを伝え、追究の意欲がもてるようにする。
<p>【学習課題】 米づくりの工夫、田のもつよさ、米づくりの問題点を考えよう</p>		
<p>2 米づくりの工夫、田のもつよさ、米づくりの問題点について考える。</p> <p>①ワークシートに各自で記入する。</p> <p>②ペアやグループで意見交流をする。</p>	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の追究意欲がわくように、児童の意見は否定せず、よさを認めるようにする。 ◎社会科の学習やこれまでの総合的な学習の時間の米づくり体験を振り返ることができるよう、社会の教科書やノート、総合の活動記録を見るよう助言する。 ・意見を交流しながら、新しく考えたものがあれば、ワークシートに記入するよう指示する。 ・意見を短冊に書くよう指示する。
<p>3 グループ内で話し合われた意見を発表し、学級全体で共有する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農薬や化学肥料を減らす ・ 品種改良 ・ 共同作業 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈よさ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米を毎年育ててくれる ・ 水をためる役割 ・ 生きもののすみか </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈問題点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米づくり農家が減っている ・ 外国から米が輸入される ・ 米を食べる人が減っている </div>	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が短冊に書いた米づくりの工夫、田のもつよさ、米づくりの問題点を黒板に整理して提示する。 ・ どの資料から分かったか、どうしてそう思ったかと問いかけ、根拠や理由が共有できるようにする。 ・ 田のもつよさについての意見が少ない場合は、田のもつ環境保全機能が分かる資料を提示して、追究する意欲がもてるようにする。 ・ 付け足しの意見や疑問、反論を取り上げ、問い直して考えようとする意欲を喚起する。 ◎意図的指名で意見を取り上げ、頑張りを認める。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>◇米づくりに関心をもって、米づくりの工夫、田のもつよさ、米づくりが抱える問題点をつかもうとしている。（ワークシートNO.1、発言） 【関心・意欲・態度①】</p> </div>
<p>4 学習の振り返りを行い、本時の学習で学んだことを確認する。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童のワークシートや発言を生かしながら、学習の振り返りを行う。 ・ 次時は、児童から出された意見を基に、米づくりは持続可能な開発となるか考えることを伝える。

7 板書計画


○/○○

【課題】 米づくりの工夫、田のもつよさ、米づくりの問題点を考えよう



種もみまき 田植え

農薬と化学肥料の使用量の変化を表すグラフ	田の生きものの写真	農業で働く人の数の変化を表すグラフ
----------------------	-----------	-------------------



学校田の稲穂

米づくりの工夫

- 児童の意見
- 児童の意見
- 児童の意見

田のもつよさ

- 児童の意見
- 児童の意見
- 児童の意見

米づくりの問題点

- 児童の意見
- 児童の意見
- 児童の意見

6 本時の展開 (2/16)

- (1) **ねらい** 既習の学習内容と関連付けて、米づくりが持続可能な開発か自分なりの考えをもつことができる。
- (2) **準備** 教師：ワークシートNO.2 児童が考える手だてとなる資料、児童が記入する短冊
児童：社会科教科書、資料集、ノート、総合ファイル
- (3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米づくりの工夫、田のもつよさ、米づくりの問題点について振り返る。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で児童から出された意見を黒板に提示し、米づくりの工夫、田のもつよさ、米づくりの問題点について確認できるようにする。 ・社会科の「水産業のさかんな静岡県」で学習した持続可能な開発という言葉を取り上げ、米づくりは持続可能な開発か問いかける。
<p>[学習課題] 米づくりは持続可能な開発か考えよう</p>		
<p>2 米づくりは持続可能な開発か考える。</p> <p>①各自が意見をワークシートに記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈持続可能な開発と考える理由〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農薬や化学肥料の使用を減らす努力をしているから。 ・品種改良や共同作業など、おいしく安全な米づくりを目指しているから。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈持続可能な開発と考える理由〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米の消費量が減っているから。 ・働く人が減っているから。 ・外国からの米の輸入が増える心配があるから。 </div> <p>②ペアやグループで意見交流をする。</p>	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な開発という言葉の意味を児童が考える際は、「環境を大切に」「生活を豊かに」「これからも続く」といった言葉を用いて、分かりやすくとらえられるようにする。 ◎前時で児童から出された意見を基に、持続可能な開発と言えるか考えるよう助言する。 ・持続可能な開発と思う理由や、思わない理由をできるだけ記入するよう伝える。 ◎持続可能な開発という言葉がよく理解できない場合は、人や環境によくない米づくりとはどんなものか考えるよう助言する。 ・意見を交流しながら、新しく考えたものがあれば、ワークシートに記入するよう指示する。 ・米づくりを問い直して考える活動なので、自分の意見に反対の意見が出たからといって、ワークシートに記述した内容を消すことがないよう指示する。 ・意見を短冊に書くよう指示する。
<p>3 米づくりが持続可能な開発か発表し、全体で意見を共有する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・米づくりは持続可能な開発だと思うけれど、問題点を解決しないとこれからも続くか心配な面があるね。 ・農薬を減らす工夫とは、具体的にどうすることなのだろう。 ・米づくりをする農家の人は減っているんだよね。田がなくなってしまうたらどうなるのだろう。 ・見方を変えると、いろいろな意見が出るね。もっと詳しく調べて、自分の考えを深めていこう。 </div>	20分	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が書いた短冊を整理して黒板に提示する。 ・一つの事象を立場を変えて見ることができる事例を取り上げることで、物事をうのみにせず、よく考えて判断することの大切さに気付くことができるようにする。 (例) 農薬の使用は米の生育や病害虫の予防に効果的である。一方で、作物や環境に悪い影響を与える可能性もある。 ◎ワークシートや発言から児童が関心をもっている事象を取り上げ、その事象について教師とともに考えることで、持続可能な開発かを考えることができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇米づくりが持続可能な開発か、既習の学習と関連付けて考えている。 (ワークシートNO. 2、発言) 【思考・判断・表現①】</p> </div>

<p>4 学習の振り返りを行い、本時の学習で学んだことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートに持続可能な開発について自分の考えたまとめを記入する。 	<p>5 分</p> <ul style="list-style-type: none"> 米づくりが持続可能な開発かについて、事象を基に考えられたことのよさを認める。 話し合いを踏まえた意見を記入するよう指示する。 次時は、児童から出された意見を基に、各自が追究したいテーマを決めることを伝える。
---	--

7 板書計画

○/○○

【課題】米づくりは持続可能な開発か考えよう

米づくりの工夫

- 児童の意見
- 児童の意見
- 児童の意見

田のもつよさ

- 児童の意見
- 児童の意見
- 児童の意見

米づくりの問題点

- 児童の意見
- 児童の意見
- 児童の意見

☆持続可能な開発とは

「写真」

- 環境を大切に
- 生活を豊かに
- これからも続く

持続可能な開発だと思う理由

- 児童の意見
- 児童の意見
- 児童の意見

持続可能な開発だと思わない理由

- 児童の意見
- 児童の意見
- 児童の意見

まとめ

- 見方を変えるといろいろな意見が出た。
- もっと詳しく調べて、自分の考えを深めていこう。

【黒板掲示用写真：持続可能な開発を考える場面で使用】



洞海湾（昔）
「持続可能な開発と言えない」



洞海湾（現在）
「持続可能な開発と言える」



世界農業遺産「佐渡」の田園風景
トキとの共存



里山と生き物イラスト

6 本時の展開 (3、4/16)

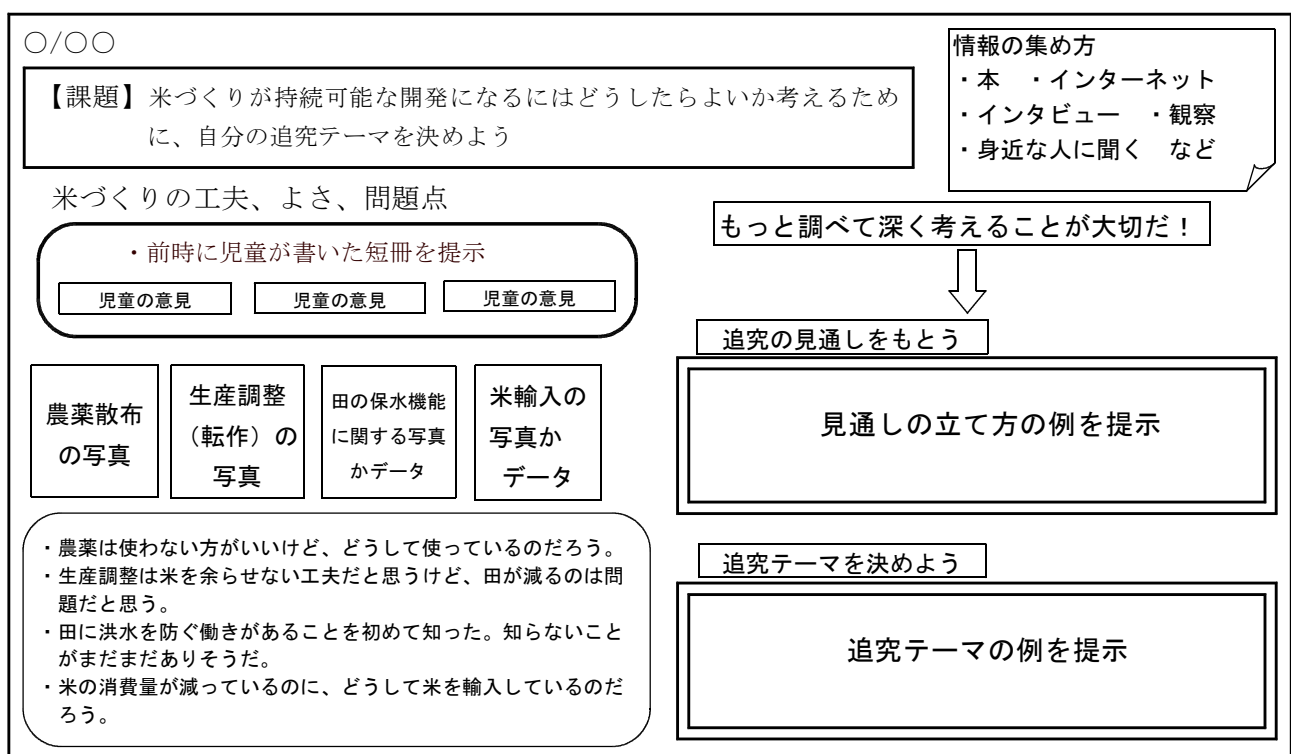
- (1) **ねらい** 米づくりに関する様々な事象の中から米づくりが持続可能な開発になるためにはどうしたらよいかを考えるための適切な資料を選択し、見通しをもちながら追究テーマを決めることができる。
- (2) **準備** 教師：ワークシートNO. 3、書画カメラ、プロジェクタ、黒板掲示用写真、
前時で児童から出された意見が書いてある短冊
児童：社会科教科書、資料集、ノート、JA資料「農業とわたしたちの暮らし」、
総合ファイル

(3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業、生産調整、田の保水機能、外国産米の輸入といった取組や事象から、米づくりが持続可能な開発と言えるか考えを出し合う。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業は使わない方がいいけれど、どうして使っているのだろう。 ・ 生産調整は米を余らせない工夫だと思うけれど、田が減るのは問題だと思う。 ・ 田に洪水を防ぐ働きがあることを初めて知った。知らないことがまだまだありそうだ。 ・ 米の消費量が減っているのに、どうして米を輸入しているのだろう。 </div>	<p>20分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時で紹介した、環境を破壊する開発例や田のもつ環境保全機能を取り上げることで、持続可能な開発が、環境と深いかわりがあることを振り返ることができるようにする。 ・ 前時で児童から出された意見を黒板に提示することで、米づくりの工夫、よさや問題点があったことを児童が理解しやすいようにする。 ・ 考えを出し合うことは、考えを深めるために大切なことであることを伝えるとともに、これまでの自由な意見を出し合える学級のよさを賞賛することで、意見を出し合うことへの意欲が高まるようにする。 ・ それぞれの事象について、よさや問題点があることに気付かせることで、得られたデータや考えをうのみにするのではなく、追究することの大切さや面白さに気付くことができるようにする。 ・ 書画カメラでワークシートNO. 3を写し、追究テーマの決め方を手順を追って説明することで、学習の流れをつかむことができるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #f0f0f0;"> <p>【学習課題】 米づくりが持続可能な開発になるにはどうしたらよいか考えるために、自分の追究テーマを決めよう</p> </div>		
<p>2 追究する内容を考える</p> <p>《追究の見通しの例》</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ① 農業や化学肥料を減らすことができれば、持続可能な開発になると思います。 → 農業や化学肥料のよさや問題点について調べます。 ② 田が減らないようにすれば、持続可能な開発になると思います。 → 田が減らないようにしている人々の工夫を調べ、私たちにできることは何か考えます。 ③ 田が環境を守る働きを続けることができれば、持続可能な開発になると思います。 → 田が水をたくわえて洪水を防ぐ働きがあることについて調べ、そのよさを伝えます。 ④ 輸入米が増えても、日本の米がたくさん売れば、持続可能な開発になると思います。 → 輸入する理由を調べるとともに、日本の米をたくさん売る工夫について調べます。 </div>	<p>25分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 追究の見通しの記入例を書画カメラで写して説明することで、児童が追究の見通しを立てやすくする。 ・ 調べる内容に応じて見通しの書き方が変わってよいことを伝える。うまく書けない場合は、個別支援を行う。 ◎ 持続可能な開発と言えるかどうかについて自分の意見が記述してある前時のワークシートを振り返り、自分の意見の根拠となっている米づくりに関する事象を選択するように助言する。
<p>3 調べる活動を進め、米づくりに関する様々な取組や事象の中から、米づくりが</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 追究の見通しが立てられない児童が多い場合は、立てられた児童の意見を皆に紹介することで、追究の見通しを立てる助けとなるようにする。 ・ インターネットを使用する際は、学校で作成してある「調べ学習用リンク集」を利用する。

<p>持続可能な開発になるか考えるために適切な資料を選択し、追究テーマを決める。</p> <p>① コンピュータ室や図書室を利用し、適切な資料があるか調べる。</p> <p>② 追究テーマを決定する。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農薬や化学肥料の上手な使い方は？ ・ 田が減らないように、できることはなんだろう？ ・ 田がこう水を防いでくれる！ ・ 日本のお米と外国のお米を比べよう 	<p>30分</p> <p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米づくりに関する図書室の本を何冊か紹介し、必要な資料を取捨選択できるようにする。 ・ 一つの資料が見つかったら、そのことを詳しく調べるのは次時以降とし、ほかの資料を探すよう指示する。 ・ 幾つかの資料を比較検討して自分の考えを深めることができるようにする。 ・ 資料の出典が分かるようにメモを取ることを指示し、次時の追究活動で何を調べるか迷うことなく取り組めるようにする。 <p>◎ 児童が立てた追究の見通しにかかわる資料（本やWebページ）を具体的に教師が例示することで、そのような資料をどうやったら調べることができるかを支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 追究テーマは、児童の追究意欲が湧くように、自由な発想を生かすように指示する。 ・ 追究活動後、意見交流会をすることを伝え、次時以降の調べる活動にしっかり取り組むよう意識付けを行う。 <p>◇ 自分が追究したいテーマにかかわる資料を基に追究テーマを決めている。 (ワークシートNO. 3、観察) 【思考・判断・表現①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭での自主学習として本単元の追究活動を行わせることで、追究活動に進んで取り組む意欲を高める。
<p>4 学習の振り返りを行い、本時の学習で学んだことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートNO. 3に学習のまとめを書く。 	<p>10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えを基に追究テーマを決められたことを賞賛することで、児童が次時以降の活動に意欲をもって取り組めるようにする。 <p>◎ 追究の見通しと追究テーマが決められない児童には、次時の活動までに個別支援を行い、追究テーマを決めておく。</p>

7 板書計画



6 本時の展開 (5、6 / 16)

- (1) **ねらい** 米づくりが持続可能な開発になるにはどうしたらよいか考えるために、様々な資料から必要な情報を選ぶことができる。
- (2) **準備** 教師：ワークシートNO. 4
 児童：社会科教科書、資料集、ノート、JA資料「農業とわたしたちの暮らし」、総合ファイル（ワークシートNO. 3）

(3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(持続可能な開発のキーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境を大切に (環境をこわさない) ・生活を豊かに ・これからも続く </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【学習課題】 米づくりが持続可能な開発になるにはどうしたらよいか考えるために、必要な情報を見つけよう。</p> </div>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で児童がワークシートに記入した追究の見通しの中から、筋道立てて記入してあるものを幾つか紹介し、自分の追究の見通しと比較させることで、調べることを明確にして活動に取り組むことができるようにする。 ・表やグラフ、図や写真をワークシートに書き写さずに印刷して保管する際は、必要な資料なのか考えてから印刷するように指示する。
<p>2 米づくりが持続可能な開発になるにはどうしたらよいか考えるために必要な情報を資料から選択する。</p> <p>①追究計画（追究の見通し）を基に、調べ学習を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(調べる事象の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業 ・化学肥料 ・生産量と消費量 ・田のもつ環境保全機能 ・働く人の減少、高齢化 ・生産調整 ・外国からの輸入米 ・アイガモ農法 ・水田の活用 ・品種改良 ・販売の工夫 </div> <p>②情報交換や意見交流を行う。</p> <p>③情報交換や意見交流を参考に引き続き調べ学習を行い、自分の考えをもつ。</p>	25分 15分 25分	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な資料を総合ファイルに印刷して保管する場合は、出典が不明にならないように指示する。 ・ワークシートの「資料から分かったこと」の欄には、要点を簡潔に書くように指示する。 ◎資料が見つからないで困っている児童に対しては、児童に追究の見通しを聞きながら、どのような資料が必要かを共に考えた上で資料を提供する。 ・教師からの支援だけでなく、児童同士で情報交換やアドバイスを伝えることのよさを伝え、学び合える雰囲気づくりを行う。 ・情報を共有したり、多様な意見を聞いたりする場面を設定することで、個々の児童が自分の調べ学習を振り返り、さらに調べる必要があることや、もっと調べたいことを明確にしながら、学習に取り組むことができるようにする。 ◎追究テーマにかかわる資料を複数提供することで、自分が調べたいと思う情報をその資料から取捨選択することができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇自分が追究したい課題にかかわる情報を資料から取捨選択している。 (ワークシートNO. 4、観察)</p> <p style="text-align: right;">【技能①】</p> </div>
<p>3 出前授業で質問したいことを考える。</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業の講師について説明をし、質問内容を考える参考にする。 ・質問内容を講師に伝えるので、自分の追究活動に役立つ質問をしっかりと考えるよう伝える。 ・質問したいことを出し合い、必要だと思われるものを話し合いの中で決定していく。 ・児童の意見をできるだけ尊重し、出前授業に意欲的に取り組むことができるようにする。
<p>4 学習の振り返りを行い、自分の考えをまとめる。</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習を通して、米づくりが持続可能な開発になるにはどうしたらよいと思うか、自分の考えをワークシートに記述することを指示する。 ・調べ学習が十分行えなかった児童に対しては、個別に支援を行うことで、次時以降の意見交流で自分の意見を述べるようにする。

7 板書計画

○/○○

【課題】米づくりが持続可能な開発になるにはどうしたらよいか考えるために、必要な情報を見つけよう

「持続可能な開発」となるために考えること

- ①環境を大切に（環境をこわさない）
- ②生活を豊かに
- ③これからも続く

☆自分の追究の見通しが、①～③とつながっているか確かめよう

児童の見通しをいくつか紹介する

☆調べたことを記録しよう

ワークシートNO.4を拡大して掲示

☆出前授業で質問したいこと

児童の意見を書く

6 本時の展開 (7、8/16)

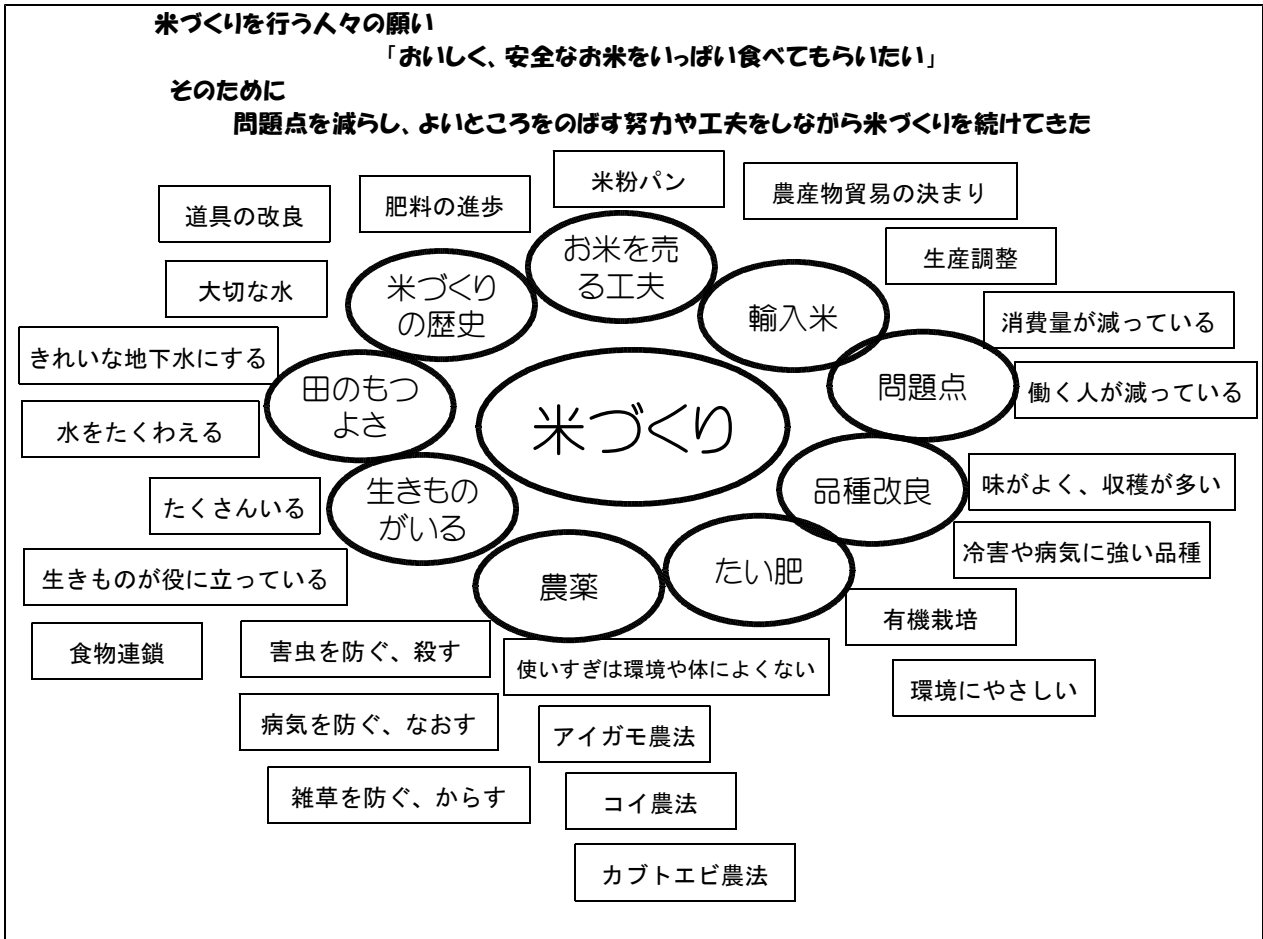
- (1) **ねらい** 出前授業や調べ学習で学んだことから、様々な努力や工夫をして米づくりを行っていることを理解することができる。
- (2) **準備** 教師：ワークシートN0. 5、児童の調べた事象が書かれた画用紙（黒板掲示用）、児童の意見を掲示する短冊状の画用紙、出前授業で使う資料『水田、稲、田のこと』
 児童：社会科教科書、資料集、ノート、総合ファイル

(3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しをもつ。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・話の聞き方や質問の仕方など、聞く態度について指導をする。 ・追究テーマにかかわる内容は特にしっかり聞くように指示し、各自の追究活動が深まるようにする。 ・配付資料に記述がなく、自分が米づくりを考える上で大切だと思うことは、メモを取るように指示する。
<p>【学習課題】 出前授業や調べ学習で分かったことを出し合い、米づくりの努力や工夫について考えよう</p>		
2 出前授業で米づくりについての話を聞く。	40分	<ul style="list-style-type: none"> ・教師はコーディネーターの役割を行い、講師とともに授業を進める。 ・授業のねらい、児童の関心、講師が伝えたいことなどを踏まえた上で授業が進むようにコーディネートを行う。 ・資料の内容をすべて説明する時間がないので、講師と事前に打ち合わせをしたとおりに、内容を選んで授業を進めていく。
<p>資料名『水田、稲、米のこと』 (内容) 1 お米ができるまで・今と昔 2 稲作の歴史 3 稲の品種と品種改良 4 日本の米の収量の変化 5 二毛作と二期作 6 お米を主食にした理由 7 田の働き 8 田の生きもの(動物) 9 田の生きもの(植物) 10 食物連鎖 11 生物多様性 12 稲のいろいろな使い方 13 食生活・稲作の変化と問題点、食料自給率の低下 14 稲つくりの効率化への取組 15 稲作の文化・田や米は日本人の文化の原点 16 日本型食生活 17 地産地消</p>		
3 出前授業や調べ学習で分かったことを出し合い、米づくりの努力や工夫について考える。	25分	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業時の話を聞く態度やメモの取り方などを振り返り、よいところを褒めることで、学習に取り組む意欲を高める。 ・児童が調べた事象を記入した画用紙を黒板に掲示し、視覚化することで、米づくりを多面的に見てきたことが分かるようにする。 ・児童一人一人が調べて分かったことを授業に取り入れることで、学習の満足感が得られるようにする。 ・前時までのワークシートから、児童が調べ学習で分かったことを把握しておき、事前に短冊状の画用紙に記述しておく。授業では、児童の発言後にその画用紙を順次黒板に掲示し、残しておくことで、調べて分かったことを学び合えるようにする。 ・出前授業で分かったことを記述し掲示できるように、白紙の短冊状の画用紙を用意しておく。
<ul style="list-style-type: none"> ・米づくりを行う人々の願いをワークシートに記述する。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の願い(味、安全、価格)に応えるために様々な努力や工夫を行っていることを児童の意見を基にしながら理解できるようにする。 ◎自分で調べたことや今日の授業で分かったことは何かを問いかけ、その答えを生かしながら米づくりの努力や工夫について自分の考えが書けるように助言する。
<ul style="list-style-type: none"> ・おいしく安全な米づくりを目指していると思うよ。 ・自分たちが作ったお米をいっぱい買ってほしいと願っていると思う。 ・お米のよさをもっと知ってもらいたいと思っているだろう。 		<ul style="list-style-type: none"> ◇出前授業や調べ学習で学んだことから、様々な努力や工夫をして米づくりを行っていることを理解している。 (ワークシートN0. 5、観察) 【知識を応用し総合する能力①】

<p>4 学んだことを振り返り、学習のまとめをする。</p> <p>・米づくりを行う人々の願いは、おいしく安全なお米をいっぱい食べてもらうことだと思う。そのために問題点を減らし、よいところをのぼす努力や工夫をしながら米づくりを続けてきたと思う。</p>	<p>10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを振り返りながら、学習の感想を書くよう指示する。 ・記述したことを発表する場面を設け、児童の意見を生かしながら学習のまとめを行う。 ・一人一人の調べる活動が、学級全体で米づくりを考える学習につながったことを伝えることで、次時の学習に取り組む意欲を高める。
--	------------	---

7 板書計画



6 本時の展開 (9、10/16)

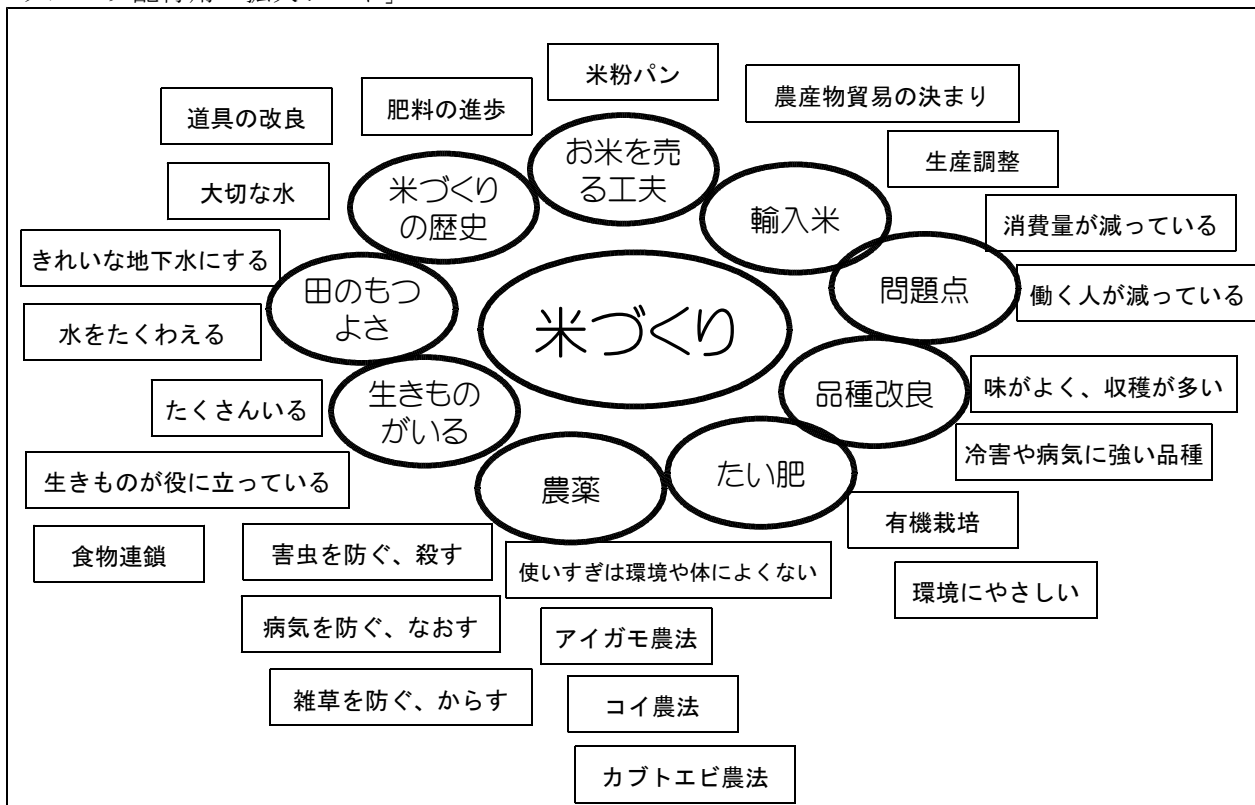
- (1) **ねらい** ・米づくりを行う人々の願いが持続可能な開発とつながっているか考えることで、米づくりを取り巻く様々な事象や取組を「環境を大切に」「生活を豊かに」「これからも続く」という視点から多面的にとらえることができる。
 ・持続可能な開発の大切さを理解し、自分たちができることは何か考えることができる。
- (2) **準備** 教師：ワークシートNO. 6とNO. 7、グループ学習用拡大シート(8枚)、3色のシール、前時に使用した黒板掲示用の短冊状画用紙
 児童：社会科教科書、資料集、ノート、総合ファイル

(3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈米づくりを行う人々の願い〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おいしく、安全なお米をつくりたい。 ・病気に負けない強いお米をつくりたい ・たくさんの人に食べてもらいたい。 ・米づくりをいつまでも続けたい。 ・お米を食べて、元気になったり笑顔になったりしてほしい。 ・お米のよさを知ってほしい。 </div>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の授業終了時と同じ黒板の状態にしておき、前時からのつながりで授業を進められるようにしておく。 ・調べ学習や出前授業を基に話し合った、米づくりを行う人々の願いを黒板に掲示し、意見を共有する。 ・自分で調べたことや考えたことをグループで交流し、その後、学級全体で交流をするという学習過程を説明する。 ・1グループの人数を4～5人とし、一人一人が意見を出し合いながら意見交流が行われるようにする。 ・自分の意見をしっかりと話すとともに、友達の意見もしっかりと聞くことが、一人一人の考えを深めるために大切であることを伝える。
<p>【学習課題】 米づくりを行う人々の願いが「環境を大切に」「生活を豊かに」「これからも続く」といった持続可能な開発の考えとつながっているか、米づくりについて追究してきたことから考えていこう</p>		
<p>2 米づくりについて追究してきたことが「環境を大切に」「生活を豊かに」「これからも続く」という考えとつながっているかを考える。</p> <p>①グループで話し合う。</p> <p>②グループで話し合ったことを全体に発表し、意見を交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・減農薬栽培や品種改良は農薬を減らす取組の一つだから、環境や安全のことを考えて米づくりを目指しているんだね。 ・道具の改良によって米づくりがしやすくなり、収穫量も増えたから、豊かな生活につながったと思う。 ・米づくりが続くためには、たくさん食べてもらうことが大切だから、米粉パンを売るなどいろいろな工夫をしていると思う。 </div>	20分 20分	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が追究したことが書かれてある拡大シートを各班に1枚用意し、「環境を大切に」「生活を豊かに」「これからも続く」を表す3色のシールを拡大シートに貼ることで、児童の考えが視覚化できるようにする。 ・各自で追究したことが話し合いに生かされるように、グループのメンバーが追究したことから話し合いを始めるように指示する。 ・拡大シートを掲示しながら、各グループで話し合われたことを発表するように指示する。 ・児童が追究したことが書かれた短冊状の画用紙を黒板に掲示し、そこに教師が色シールを貼ることで、各グループの意見が黒板に表れ、交流しやすくなるようにする。 ・拡大シートや児童の発言を基に、米づくりの様々な取組(努力や工夫)が持続可能な開発という考えとつながっていることに気付くことができるようにする。 ・黒板に掲示した米づくりを取り巻く様々な事象や米づくりの様々な取組を線でつなぐことで、それぞれが、かわり合っていることに気付くことができるようにする。 ・米づくりの様々な取組が、「環境を大切に」「生活を豊かに」「これからも続く」という考えとつながっていることから、米づくりを行っている人々の願いも、「環境を大切に」「生活を豊かに」「これからも続く」といった持続可能な開発の考えとつながっているということを理解できるようにする。
<p>3 米づくりを行っている人々の願いが、「環境を大切に」「生活を豊かに」「これからも続く」といった持続可能な開発の考えとつながっているかを考える。</p>	10分	<p>◎グループ内で自分の追究したことについて話し合う場面では、追究活動で使用したワークシートを見ながら、自分の意見を皆に伝えることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◇米づくりを取り巻く様々な事象や取組を「環境を大切に」「生活を豊かに」「これからも続く」という視点から多面的にとらえている。 (ワークシートNO. 6、発言) 【思考・判断・表現②】</p> </div>

4 持続可能な開発に向けて自分たちができることは何か考える。	25分	
<p>【学習課題】 米づくりが持続可能な開発になるために、自分たちができることは何か考えよう</p>		
<p>〈できること〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お米をいっぱい食べること。 ・お米を大切にし、残さず食べること。 ・生きものを大切にすること。 ・水を大切にすること。 ・ゴミのポイ捨てなど環境をよごさないこと。 ・お米のよさをもっと知ること。 ・米づくりを行う人の気持ちを考えること。 ・米づくりのよさや大切さをもっと知ってもらうこと。 		<ul style="list-style-type: none"> ・前時のワークシートに、自分の追究したことを踏まえて自分たちができることを記述した児童がいれば、その内容を紹介し、考え方のよさを認める。 ・どの意見のよさも認め、今後の実践意欲が高まるようにする。 ・学んだことを多くの人に知ってもらうことが大切な行動の一つであるということを、児童の意見から取り上げ、発信する活動を行う意欲へつなげていく。 ・出された意見から幾つか選んだ具体的な取組を学級で実践し、その様子も発信していくことで、自分たちで考えた取組を実践する達成感が味わえるようにする。 <p>◎グループ学習で使用したワークシートNO. 6に記入したことから、自分たちができることを考えるよう助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇持続可能な開発の大切さに気付き、自分たちができることを考えている。(ワークシートNO. 7、発言)</p> <p style="text-align: right;">【知識を応用し総合する能力①】</p> </div>
5 学習の振り返りを行い、自分の考えを整理する。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことの感想をワークシートに記述するよう指示する。 ・記述したことを発表する場面を設け、児童の意見を生かしながら学習のまとめを行う。 ・次時からは、みんなで協力して発信活動に取り組むことを伝える。

グループ配付用「拡大シート」



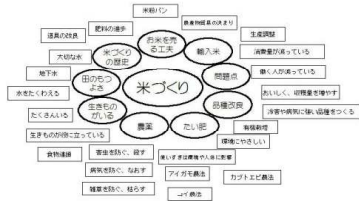
7 板書計画

【課題①】

米づくりを行っている人々の願い

-
-
-

米づくりを行う人々の願い
「おいしく、安全な米をいっぱい食べてもらいたい」
そのため、自然環境を壊さず、よいとこをのびす努力や工夫を
しながら米づくりを続けてきた。



【課題②】

自分たちにできること

-
-
-



5年〇組で取り組むこと

自分たちで学習したこと
を多くの人に伝えよう

☆米づくりの様々な取組は、持続可能な開発の考え方とつながっていることが分かった

6 本時の展開 (11/16)

- (1) **ねらい** 学習したことが相手に伝わるような発表の方法や内容を考えることができる。
- (2) **準備** 教師：ワークシートNO. 8、各グループ分の模造紙、プロジェクタ、書画カメラ、模造紙のレイアウトを説明する掲示物
 児童：社会科教科書、資料集、ノート、総合ファイル
- (3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しをもつ。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習が、次時へつなげる大切な活動であることを伝え、みんなで協力して発表の方法や内容を考えていく意欲が高まるようにする。 ・黒板に模造紙のレイアウト例を提示し、伝えたいことをどのような構成で表現したらよいか見通しをもてるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>[学習課題] 学習したことを学習参観日で伝えるために、発表の方法や内容を考えよう</p> </div>		
2 学習参観日で発表する内容、発表の順序を考える。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〈発表の順序例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追究の動機 ・追究活動で調べて分かったことの説明 ・追究から学んだことや考えたこと ・相手に伝えたい思い </div>	20分	<ul style="list-style-type: none"> ・模造紙を用いて発表用の資料を作成していくので、相手や内容に応じてパーソナルコンピュータを使用する場合は、IT指導員と連携して指導にあたる。 ・全員が発表にかかわり、伝えたい事柄を伝えるという意識を共有して、発表の内容や順序を話し合えるようにする。 ・話し合ったことをワークシートに記述し、グループのメンバーで協力しながら活動できるように指示する。 ・発表の順序例を説明するが、児童の意見を尊重し、伝えたい内容が伝わるのであれば、発表の内容や順序の変更は臨機応変に行うこととする。 ・追究してきた内容が同じ児童同士をグループにし、伝える内容が精選できるようにする。 ・一人一人の追究活動が発表の中に生かされるように、伝える内容を考えて役割分担をすることを伝える。 ・限られた時間で全員の発表ができるように、発表の方法や内容に応じた各グループの発表時間を伝える。 ・模造紙に書く前に、レイアウトを考え、見通しを立ててから書く活動に取り組むよう指示する。 ・書いてあることを読んで説明するだけでなく、クイズ形式にしたり、写真や実物を見せるなど、発表方法に工夫があるとよいことを助言する。 <p>◎追究してきたことの中から、発表の場面で生かせる情報や考えを具体的に伝え、発表の意欲が高まるようにする。</p>
3 グループ毎に、発表の方法や伝える内容、役割分担を決める。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〈追究してきた内容の例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米づくりの歴史 ・田のもつよさ ・生きものがある ・農業、化学肥料 ・品種改良 ・問題点 ・輸入米 ・お米を売る工夫 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〈伝える内容の例：『田のもつよさ』〉 田はおいしいお米をつくるだけでなく、環境を守る働きもあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいな地下水にする ・水をたくわえ、洪水を防いでくれる ・生きものすみかとなっている など <p>田があることで、環境も守られ、生活も豊かになるから、田を大切にしたいです。</p> </div>	10分	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>◇学んだことを伝えたいという意欲をもって、発表の計画を立てようとしている。 (ワークシートNO. 8、発言) 【関心・意欲・態度②】</p> </div>		
4 学習の振り返りを行い、次時の活動の見通しをもつ。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループが行う取組を確認し、次時の活動がスムーズに行えるようにする。 ・必要な情報が不足していたグループには、次の活動までに、追究活動で使用していた図書室の本やWebページを見直し、必要な情報を活用できるように支援する。

7 板書計画

○/○○

【課題】 学習したことを学習参観日で伝えるために、発表の方法や内容を考えよう

◎自分が発表することを決めよう

〈追究してきた内容の例〉

- ・米づくりの歴史
- ・田のもつよさ
- ・生きものがある
- ・農薬、化学肥料
- ・品種改良
- ・問題点
- ・輸入米
- ・お米を売る工夫

〈拡大したワークシート〉

発表すること〈題名〉

発表の方法

発表の分たん

〈模造紙のレイアウト例〉

題名

調べたこと①を文章で説明

絵、図、写真

絵、図、写真

調べたこと②を文章で説明

絵、図、写真

絵、図、写真

まとめ(分かったこと、伝えたいこと)

6 本時の展開 (12/16)

- (1) **ねらい** 相手に分かりやすく伝えることができるように、調べたことや考えたことを整理して発表の準備をすることができる。
- (2) **準備** 教師：ワークシートNO. 9、模造紙、プロジェクタ、書画カメラ、
児童：発表に使うもの、社会科教科書、資料集、ノート、総合ファイル
- (3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しをもつ。</p>	<p>10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分やグループのめあてをワークシートに記述し、伝え合うことで、学んだことを相手に分かりやすく伝えるという本時のねらいを全員で共有できるようにする。 前時の話し合いを基に、役割を分担して計画的に準備することを指示する。 前時で提示した模造紙のレイアウト例を提示し、見やすい構成を行うための手だてとする。
<p>[学習課題] 相手に分かりやすく伝えることができるように意識して発表の準備を進めよう</p>		
<p>2 グループで発表の準備をする。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〈追究してきた内容の例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米づくりの歴史 ・田のもつよさ ・生きものがある ・農業、化学肥料 ・品種改良 ・問題点 ・輸入米 ・お米を売る工夫 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〈模造紙のチェックポイントの例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字、表、グラフは見やすいか ・説明できる資料をのせているか ・伝えたいことが伝わる内容になっているか </div>	<p>30分</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多目的室などを利用し、模造紙を広げて書く活動ができるスペースを確保する。 黒板に模造紙のチェックポイントを提示し、見やすさや分かりやすさを意識して、書く活動に取り組むことができるようにする。 鉛筆で下書きをしてから、ペンで書くように指示する。 各グループを回り、字の大きさや資料の提示の仕方などを必要に応じて具体的に助言する。 調べたことを単に表すだけでなく、調べたことから考えたことや伝えたいことが分かる内容になっているかを振り返るように指示する。 模造紙などの発表に使用するものを、どのように説明するか（発表の役割分担、発表時間など）を考えながら作業を行うように指示する。 プロジェクタを使用して画像や実物を見せるグループがある場合は、機器の扱い方を説明し、映り具合を確認しておく。 グループの活動でよいところを見付け、必要に応じてほかのグループにもそのよさを伝える。 <p>◎総合ファイルに保管したこれまでのワークシートや資料を見直し、分かりやすい伝え方に生かせるものを児童とともに考え助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇調べたことや考えたことを分かりやすく整理している。 (発表に使う資料、発表の準備の様子)</p> <p style="text-align: right;">【技能②】</p> </div>
<p>3 学習の振り返りを行い、自分の考えを整理する。</p>	<p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループのめあてが達成できたか振り返ることで、次時の活動で取り組むことが明確になるようにする。 次時の学習予定（発表練習を全体で行うこと）を知らせ、各グループで必要な準備を進めるよう指示する。 各グループの進み具合を把握し、次時までには作業を進めておく必要があるグループについては、具体的な助言を行い、全体練習までに準備が間に合うようにする。 これまでの活動のよさを認め、学習発表会に取り組む意欲が高まるような雰囲気をつくる。

7 板書計画

○/○○

【課題】相手に分かりやすく伝えることができるように意識して発表の準備を進めよう

◎今日のめあてを話し合おう
(8つのグループのめあて)

•	児童の意見
•	児童の意見
•	児童の意見
•	児童の意見
•	児童の意見
•	児童の意見
•	児童の意見
•	児童の意見

〈模造紙のレイアウト例〉

題 名	
調べたこと①を文章で説明	
絵、図、写真	絵、図、写真
調べたこと②を文章で説明	
絵、図、写真	絵、図、写真
まとめ (分かったこと、伝えたいこと)	

チェックポイント

- 字、表、グラフは見やすいか
- 説明できる資料をのせているか
- 伝えたいことが伝わる内容になっているか

次の授業までに準備しておく
ことをグループで相談しよう

--

6 本時の展開 (13、14/16)

- (1) **ねらい** 相手に分かりやすく伝えることができるように、調べたことや考えたことを整理して発表の準備をすることができる。
- (2) **準備** 教師：ワークシートNO. 9、模造紙、プロジェクタ、書画カメラ、パソコン
 児童：発表に使うもの、社会科教科書、資料集、ノート、総合ファイル
- (3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しをもつ。</p>	<p>10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の課題を踏まえた自分やグループのめあてをワークシートに記述し、伝え合うことで、学んだことを相手に分かりやすく伝えるという本時のねらいを全員で共有できるようにする。 ・授業の後半で全体練習をするので、前時の話を基に、役割を分担して計画的に準備を進めるように指示する。
<p>【学習課題】 相手に分かりやすく伝えることができるように意識して発表の準備を進めよう</p>		
<p>2 発表の準備をする。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〈模造紙のチェックポイントの例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字、表、グラフは見やすいか ・説明できる資料をのせているか ・伝えたいことが伝わる内容になっているか </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〈発表のチェックポイントの例〉</p> <p>◎伝えたいことが伝わっているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声の大きさ、速さは適切か ・発表がスムーズに行えているか ・資料の説明が分かりにくくないか </div>	<p>35分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的室などを利用し、模造紙を広げて書いたり、グループで発表練習をしたりすることができるようにする。 ・各グループを回り、字の大きさや資料の提示の仕方などを具体的に助言する。 ・調べたことを単に伝えるだけでなく、調べたことから考えたことや伝えたいことが分かる内容になっているかを活動の中で振り返るように指示する。 ・グループの活動でよい点を見付け、必要に応じて他のグループに伝えることで、参考になるようにする。 ・資料作成を終えたグループから、発表の練習を行うように指示する。 ・黒板に発表のチェックポイントを提示し、伝えたいことが伝わっているかを意識して、練習に取り組むことができるようにする。 ・発表はメモを見ながら行ってもよいが、メモを読むことに集中しすぎている児童がいたら、相手の方を時々見て話すなど、発表の仕方について助言する。 ・発表の振り返りの時間を取り、改善点を出すようにする。 ・改善点が次の活動に生かすことができるよう、具体的な取組の方法を助言する。 ◎総合ファイルに保管したこれまでのワークシートや資料を見直し、分かりやすい伝え方に生かせるものを児童とともに考え助言する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇調べたことや考えたことを分かりやすく整理している。 (発表に使う資料、発表練習の様子) 【技能②】</p> </div>
<p>3 全体で練習をする。</p>	<p>35分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進行係の児童が発表会を進めることができるように、発表会で話す内容を事前に教師とともに考えておく。 ・これまでの学習の説明を行う際は、見る人が理解しやすいように、プレゼンテーションソフトを利用する。 ・グループの出入りや机の移動の仕方などの児童の動きを説明し、スムーズに発表会が行えるようにする。 ・ほかのグループの発表をしっかりと見て、よいところを自分たちのグループの発表に生かすよう伝える。 ・説明する資料が見やすいように、発表者の立つ位置を指示する。

<p>〈学習発表会の構成の例〉</p> <p>①始めの言葉</p> <p>②これまでの学習の説明</p> <p>③各グループの発表</p> <p>④これまでの学習で学んだこと</p> <p>⑤終わりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各グループで発表にかかった時間を伝え、時間内に伝えたいことが伝わったか確認できるようにする。 持ち時間を超過してしまったグループには、発表時間内に終わるように、発表内容のどこの部分を削ったらよいか助言する。 全体を通しての発表練習後、努力している点や工夫している点を伝え合う場面を設け、互いのよさを認め合えるようにする。 よりよい発表ができるように、発表のよかった点や改善点を助言する。 <p>◎発表がうまくいかない理由を考えさせ、その意見を基に具体的な支援を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇伝えたいという意欲をもって、どのような伝え方が相手に分かりやすく説得力があるかを考えようとしている。 (ワークシートNO. 9、発表の様子)</p> <p style="text-align: right;">【関心・意欲・態度②】</p> </div>
<p>4 学習の振り返りを行い、自分の考えを整理する。</p>	<p>10分</p> <ul style="list-style-type: none"> グループでめあてが達成できたか振り返る中で、学習発表会までに各自やグループでしておかなくてはいけないことを確認するよう指示する。 伝えたいことを学級で再確認し、目的を明確にして発表会に取り組むことができるようにする。 これまでの活動のよさを認め、学習発表会に取り組む意欲が高まるような雰囲気をつくる。

7 板書計画

【課題】相手に分かりやすく伝えることができるように意識して発表の準備を進めよう

◎今日のめあてを話し合おう
(8つのグループのめあて)

- 児童の意見
- 児童の意見
- 児童の意見
- 児童の意見
- 児童の意見
- 児童の意見
- 児童の意見
- 児童の意見

プロジェクト用のスクリーン

発表のチェックポイント

- 声の大きさ、速さ
- スムーズに
- 資料についての分かりやすい説明

来週の学習発表会でがんばること

6 本時の展開 (15、16/16)

- (1) **ねらい** ・学んだことを伝えたいという思いをもって、学習発表会を行うことができる。
 ・持続可能な社会の大切さを理解するとともに、学んだことを発信する活動が、持続可能な社会の実現につながることに気付くことができる。
- (2) **準備** 教師：ワークシートNO.10とNO.11、付箋紙、プロジェクタ、米づくりの追究テーマを表したマップ、児童が書いた米づくりのイメージマップ、持続可能な社会を考えるために必要な言葉が書かれてある画用紙（黒板掲示用）
 児童：発表に使うもの、総合ファイル、探検バック（下敷き）

(3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〈グループで伝えたいことの例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「農業について調べたグループ」 農業は環境や安全のことを考えながら使用していること。 ・「売る工夫について調べたグループ」 米粉パンをつくったり、ホームページで直接販売したりするなど、いろいろな工夫をしていること。 </div>	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の机の移動を行い、参観者に見やすいようにする。 ・グループごとに座り、話し合いがしやすいようにする。 ・追究したことから何を伝えたいかをグループで確認することで、発表の目的を明確にする。 ・各グループごとに伝えたいことを発表し、グループで伝えたい内容を学級全体で共有できるようにする。 ・発表のよい点や改善点を伝え合う目的で、付箋紙を使用することを伝える。 ・付箋紙には、発表者のよい点やアドバイスを書くように指示する。
<p>【学習課題】 学んだことを伝えたいという思いをもって、学習発表会を行おう</p>		
2 学習発表会をする。	30分	<ul style="list-style-type: none"> ・進行係の児童を中心に発表会を進めるが、必要に応じ支援を行う。 ・児童が模造紙を黒板に掲示する際は、参観者に見やすいように掲示の仕方を支援する。 ・パーソナルコンピュータを使って発表を行う場面では、児童が画面を切り替えるタイミングを見守り、参観者に発表内容が伝わるようにする。 ・参観者数名に感想を聞くことで、活動の達成感が味わえるようにする。
3 学習発表会を振り返る。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙を渡すときは、渡す相手に発表のよかった点や、自己評価と付箋紙による他者評価を基に、ワークシートの記述欄に、学習発表会の振り返りを行うよう指示する。 ◎付箋紙に書かれている内容を読んで思ったことや、発表を振り返って頑張ったところを教師が質問し、その答えを生かしながら振り返りができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◇学んだことを伝えたいという思いをもって発信しようとしている。 (ワークシートNO.10、発表に使う資料、発表の様子) 【関心・意欲・態度②】</p> </div>
4 米づくりから持続可能な社会を考える。		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の意見を基にしながら、米づくりから考えた持続可能な開発の三つの視点が、持続可能な社会にも当てはまることを説明するようにする。
<p>【学習課題】 米づくりから持続可能な社会を考えよう</p>		
①持続可能な開発について学んだことを振り返る。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・米という漢字の成り立ちを取り上げ、学習への興味・関心を高めるとともに、米づくりは、持続可能な開発となるために、多くの努力や工夫があったことを意識付ける。 ・各グループが追究してきたことを表したマップや、各児

<p>②持続可能な社会について考える。</p> <p>③学習のまとめの作文を書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「学習のまとめの作文例」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境を大切にしながら、豊かな生活がおくれるようにするには、持続可能な社会にならないことが分かりました。 ・環境を大切にするなど、自分にできることをこれからも続けていきたいです。 ・物事をいろいろな立場で見えていくことが大切だと思いました。 ・自分たちの伝える活動が、持続可能な社会に役立つといいです。 ・これからも学習したことを発信していけるように、いろいろなことに興味をもって調べていきたいです。 </div>	<p>10分</p> <p>15分</p>	<p>童が書いた米づくりマップを利用し、米づくりの様々な取組や米づくりを取り巻く事象は、つながりがあることを全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会という言葉からイメージされることを考える時間を取り、一人一人が持続可能な社会について目を向けられるようにする。 ・持続可能な社会についてとらえやすいように、黒板に提示した「米づくり」や「開発」という言葉を「社会」という言葉に置き換えて説明する。 ・持続可能な社会について分かったこと、考えたこと、伝えたいことなどをワークシートに記述することで、持続可能な社会について、一人一人が自分の考えを整理できるようにする。 ・記述したことを隣同士の児童で伝え合ったり、学級全体の場で発表したりすることで、持続可能な社会について考えたことを共有し、学び合えるようにする。 <p>◎板書を見ながら、本時の授業で分かったことや考えたことは何かを聞き、記述できる内容を見つけて助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇学んだことを伝える活動が、持続可能な社会の実現につながることに気付いている。</p> <p>(ワークシートNO. 11、発言)</p> <p>【知識を応用し総合する能力②】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会という難しい内容について、一生懸命考えられたことのよさを賞賛する。
<p>5 単元のまとめをする。</p>	<p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発言やワークシートの記述を生かしながら、本単元の学習のように、物事に興味をもつこと、多面的にとらえること、実践していくことが大切であることを伝える。 ・学校の Web ページや群馬県こどもエコクラブの活動報告会を利用して、学習したことを伝えていくことを児童に話し、さらなる発信活動への意欲を高める。 ・集めた情報や発表に使用したものは、教室に掲示するなどして、今後の学習に生かすことができるようにする。

7 板書計画

【課題】米づくりから持続可能な社会を考えよう

米・・・分解すると八十八になる。

八十八もの努力や工夫をして米がつくられる

持続可能な開発になるための努力や工夫

バラバラではなく、つながりあっている！

※授業実践⑨⑩で
使用した拡大シート
(米づくりの追究テーマを表したマップ)

※児童が書いた米
づくりのイメージ
マップ

持続可能な社会とは

環境を大切にしながら豊かな生活が続く社会

持続可能な社会のためにできること

- ・環境を大切にすること
- ・自分だけでなく、みんなのことも考えること
- ・持続可能な社会の大切さを伝えること